

須坂市教育委員会 6月定例会 【会議録】

1 日 時 2021年6月25日（金）午後2時00分～午後4時00分

2 場 所 須坂市防災活動センター 防災活動室1

3 出席した委員

| | |
|----------|-------|
| 教育長 | 小林 雅彦 |
| 教育長職務代理者 | 二ノ宮邦彦 |
| 教育委員 | 土屋 保男 |
| 教育委員 | 水上 智恵 |
| 教育委員 | 山下美知子 |

4 説明のため出席した職員

| | |
|------------|-------|
| 教育次長 | 清水 秀一 |
| 学校教育課長 | 中村 健司 |
| 子ども課長 | 小林 昌幸 |
| 人権同和教育課長 | 牧 俊彦 |
| 学校給食センター所長 | 北堀 智 |
| 文化スポーツ課長 | 田中 賢一 |
| 生涯学習推進課長 | 山岸 一延 |
| 主任指導主事 | 後藤 昭彦 |
| 指導主事 | 竹前 金三 |
| 指導主事 | 宮崎 健 |
| 指導主事 | 北村 雅 |

5 事務局出席職員

| | |
|---------|-------|
| 庶務係長 | 小林 貴彦 |
| 庶務係担当係長 | 安川 尚義 |

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について
学校経営概要

(2) 議 題

議案第 23 号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する
了解事項の取り交わしについて

議案第 24 号 2021 年度 須坂市奨学生の採否について

議案第 25 号 須坂市文化財審議委員会委員の委嘱について

(3) 協 議

① 豊野専修学校視察をうけ中学校卒業後の学びについて

(4) 一般行政報告

① 教育長出席行事の報告について

② 行事共催等承認の報告について

③ 須坂市における GIGA スクール構想について

(5) その他

① 教育委員会行事予定について

② 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

③ マリアこども園北須坂分園の施設整備について

④ その他

小林教育長が開会を宣した。

1 学校等の状況報告について

教育長が説明を求めた。

後藤主任指導主事が学校等の状況について説明した。

- ・ 不登校による欠席状況 (30 日以上の欠席)。小学校では 4 年生と 6 年生で各 1 人。中学校では 2 年生 6 人、3 年生 9 人。1 年生は今のところ該当なし。
- ・ 北信教育事務所のいじめ不登校支援員と一緒に学校訪問を実施している中で、学校の先生方の悩みとして、去年はコロナの影響で臨時休業があり学級作りが難しかった。1 年生については人間関係の構築など、非常に戸惑いがあり、先生たちも困っていた。しかし、今年は臨時休校も無く学級作りができて、よいスタートが切れたとの話があった。
- ・ 外国籍児童について、小学校 17 人、中学校で 8 人。その内、日本語指導が必要な児童生徒については、児童の言語応じた講師が指導に当たっている。

- ・ 国籍別児童生徒の状況では、中国 9 人、ブラジル 8 人、タイ 7 人、パキスタン 1 人。

北村指導主事が学校経営概要について説明した。

【小学校】

- ・ 職場見学と職場体験の両方とも実施していない小学校が 2 校。
- ・ 小学校で塾に通う児童は 563 人。全児童の 22.3%に当たる。文化系けいこ 613 人は全児童の 24.3%。運動系けいこ 988 人は全児童の 39.1%。
- ・ 学校生活アンケート結果では、児童及び保護者ともに「学校へ行くのが楽しい（喜んで学校へ行っている）」「授業がとても、あるいは概ね分かる」との回答が 90%を超えている。
- ・ いじめに関するアンケート調査の実施状況について、多い学校では毎月 1 回、年 12 回調査し、いじめの早期発見に努めている。
- ・ 図書館の本の 1 人当たりの平均貸出冊数では、少ない学校で 41.5 冊、多い学校で 219 冊。
- ・ 学校徴収金減額の状況（前年比）は、全 11 校で 5%未満。これは問題集や資料集などの副教材の見直しが余り進んでいないためではないか。

【中学校】

- ・ 家庭訪問を実施していない 2 校では、保護者に学校に来てもらい生徒を含めた 3 者懇談を実施している。
- ・ 学習塾の通塾状況。468 人は全生徒の 35.6%。3 年生の 181 人は 3 年生全体の 40%に当たる。例年、3 年生の通塾は、部活が終わる夏休みごろから上がっていく。
- ・ 学校生活アンケートの内、保護者が「子どもが授業を分かりやすいと感じていると答えた保護者数」が 8 割を切っている。これは日頃の授業だけではなく、定期テストの結果等からの判断ではないか。
- ・ 学年担任制を通年で導入している学校が 1 校ある。多くの教師で見て、生徒を支援していく体制が整えられつつある。

二ノ宮代理：

- ・ 児童会及び生徒会活動の状況において、児童生徒会役員の性別について、男子副会長 1 人、女子副会長 1 人という仕組みはどの学校もあるのか。

→北村指導主事：

- ・ 副会長については、男女各 1 人という形になっている。会長は立候補の状況で男女どちらでもあり得る。女子が増えて来た。

2 議 題

議案第 23 号 県教育委員会及び市町村教育委員会相互の任免及び人事等に関する
了解事項の取り交わしについて

議案第 24 号 2021 年度 須坂市奨学生の採否について

議案第 25 号 須坂市文化財審議委員会委員の委嘱について

教育長からの求めで、議案第 23 号から第 25 号まで一括して、担当課長が説明した。
それぞれ特に意見・質問無く、承認された。

3 協 議

(1) 豊野専修学校視察をうけ中学校卒業後の学びについて

5 月 21 日の豊野専修学校視察を終えて、教育長が委員に感想、意見を求めた。

二ノ宮代理：

- ・好きなことに集中している姿がよいと感じた。小さな学校の良さが出ていた。
- ・先生たちが生徒 1 人 1 人を手厚く見ている印象だった。
- ・専修学校ということで、高校のカリキュラムに縛られずにできることを、中学校にアピールする機会を設ければ、そこに行きたいという生徒が沢山出てくるのではないかと感じた。

土屋委員：

- ・間口を広く、生徒を受け入れ入るといふ専修学校長の意気込みを感じた。
- ・生徒も和気あいあい、高校生活を楽しんでいる印象。この学校に入れば、進路が見つけやすくなるのではないかと。

山下委員：

- ・中学校で不登校だった生徒も、この学校で居場所ができた。やりたいことを見つけて生き生きとしていた。
- ・少人数だからできるが、先生がきめ細かい対応をしていると感じた。
- ・中学校でも生徒に対して目を掛けられる環境が大事だと感じた。2 人担任制など。

後藤主任指導主事：

- ・豊野専修学校では生徒との相談の時間を大切にしていた。他の学校でも見習わなければいけないと感じた。

4 一般行政報告

(1) 教育長出席行事の報告について

教育長が主だった出席行事について説明した。

- ・ 5月31日子どもの学びのあり方検討会議

今年度、複数回検討会議で議論を進め、来年度は地域の方にも入っていた
だき、学校規模の検討会議に入っていく。会議のメンバーや議論の期間につ
いて条例を作って決めていく。

(2) 行事共催等承認の報告について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

- ・後援事業が4件、共催事業が1件。すべて過去に後援共催の実績があるもの。

(3) 須坂市におけるGIGAスクール構想について

小林教育長が説明を求め、北村指導主事が須坂市におけるGIGAスクール構想
及び家庭学習の手引について説明した。

二ノ宮代理：

- ・以前あった進路別、到達度別のように「できる子・中間の子・よく分かっていな
子」に分けてやっていた理念はよかったが、上手くいっていないところがあった。
個別最適化をこれと同じように捉えては絶対にいけないと思う。

北村指導主事：

- ・個別最適化では、今までなかなか手が入らなかった、得意な子たちをどう伸ばし
ていくのかということを大事にしていきたい。
- ・先生方のICTスキルを高めるための講習会等も支援をしていく。

5 その他

(1) 教育委員会行事予定について

小林教育長が説明を求め、各課長等が説明した。

次回定例会は7月30日（金）午後2時00分に決定した。

(2) 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について

小林教育長が説明を求め、中村学校教育課長が説明した。

(3) マリアこども園北須坂分園の施設整備について

小林教育長が説明を求め、小林子ども課長が説明した。

小林子ども課長：

- ・マリアこども園が北須坂分園の施設整備を行う。北須坂駅の東側、旭ヶ丘幼稚があ

った場所。開園予定は2022年4月1日。

- ・対象は0～2歳児。定員30人。
- ・2019年10月から幼稚園保育園の保育料無償化が実施されたことに伴い、3歳未満児の保育需要が全国的に増えている。

(4) その他

小林教育長が説明を求め、各課長が説明した。

①子育て支援センターの進捗状況について

小林子ども課長：

- ・現在、中央児童センター内にある子育て支援センターを須坂駅前シルキー1階に移転する。2022年5月共用開始予定。
- ・2021年3月30日 中島建築設計事務所と実施設計契約。4月以降、事業提案者であるグーライトを含めて3社による設計協議実施。

②学校給食費の過徴収について

北堀学校給食センター所長：

- ・令和2年度の学校給食費について市内の2校で過徴収の事案が生じている。
- ・詳細は現在、調査中。過徴収の対象者、金額が確定次第、予備費の中から返還する。
- ・過徴収の詳細が確定したところでプレスリリースを行う。

小林教育長が閉会を宣した。